



Sitecore CMS 6

コンテンツ クックブック

コンテンツ編集者/作成者のためのヒントとテクニック

目次

Chapter 1	イントロダクション	4
1.1	Sitecore にアクセスする.....	5
1.1.1	アドバンスド ログイン モード	7
Chapter 2	コンテンツの管理	9
2.1	コンテンツ ツリーを使用したアイテムの管理.....	10
2.1.1	アイテムを他の場所にコピーする	10
2.1.2	アイテムを複製する.....	11
2.1.3	アイテムを移動する.....	11
2.1.4	アイテムを削除する.....	12
2.1.5	アイテムの名前を変更する	13
2.1.6	アイテムを並べ替える	13
2.1.7	右クリックでコンテキスト メニューを使用する	15
2.1.8	ドラッグ & ドロップ機能を使用する	15
2.1.9	クリップボードを使用する.....	15
2.2	メディア ライブラリ.....	16
2.2.1	メディア ライブラリへのアクセス方法.....	16
2.2.2	ファイルをメディア ライブラリにアップロードする.....	16
2.2.3	アップロードの高度な設定のオプション	18
2.2.4	複数のファイルをバッチでアップロードする方法.....	20
2.3	バージョン管理.....	21
2.3.1	バージョンを切り替える方法	21
2.3.2	新しい数値バージョンを追加する.....	21
2.3.3	アイテムの数値バージョンを削除する	22
2.3.4	アイテムの 2 つのバージョン間の変更を確認する	23
2.3.5	アイテムのコンテンツを別の言語に翻訳する.....	25
2.3.6	新しい言語バージョンを作成する方法	26
Chapter 3	言語の管理	27
3.1	新しい言語の追加方法.....	28
3.2	言語の削除方法.....	31
Chapter 4	コンテンツのパブリッシュ.....	32
4.1	アイテムまたはサイト全体をパブリッシュする方法	33
4.1.1	高度な設定を使用してアイテムをパブリッシュする	34
4.1.2	サイト全体をパブリッシュする	34
4.2	アイテムのバージョンを非表示にする方法	37
4.3	アイテムをパブリッシュ停止にする方法	38
4.4	アイテムのパブリッシュをスケジュールする方法	39
4.5	アイテムのどのバージョンがパブリッシュされるかを判別する方法	42

Chapter 5	検索を管理する	44
5.1	検索インデックスとリンク データベースの再構築の方法	45
Chapter 6	システム管理者のためのメモ	47
6.1	ログイン ページのカスタマイズ	48
6.2	デフォルトのクライアント言語を変更する	49

Chapter 1

イントロダクション

このクックブックは Sitecore CMS のコンテンツ エディターのガイドとヒントを記載しています。この文書には次の章があります。

- Chapter 1 – イントロダクション
- Chapter 2 – コンテンツの管理
- Chapter 3 – 言語の管理
- Chapter 4 – コンテンツのパブリッシュ
- Chapter 5 – 検索を管理する
- Chapter 6 – システム管理者のためのメモ

1.1 Sitecore にアクセスする

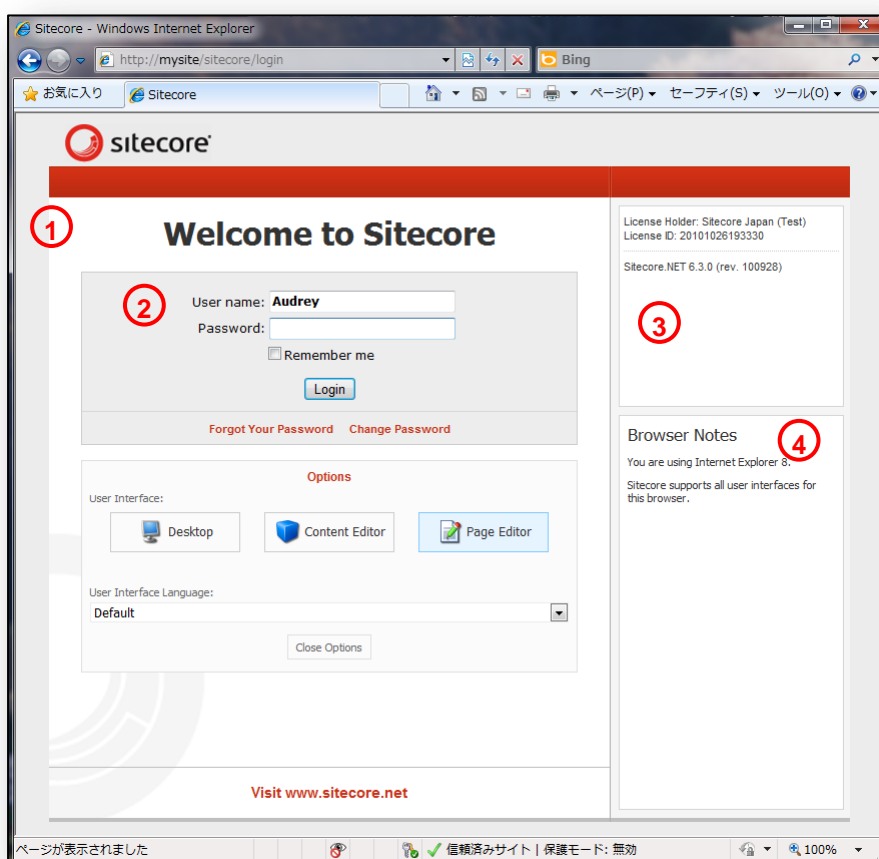
ユーザーは Sitecore のログイン ページを使って Sitecore の Web インターフェースにアクセスします。ベースとなるサイトの URL の最後に "sitecore" と入力し、ログイン ページにアクセスします。たとえば、サイトの URL が下記であります:

`http://www.mysite.com/`

このとき、Sitecore のログイン ページには下記の URL からアクセスすることができます:

`http://www.mysite.com/sitecore`

ログイン ページは下記のスクリーン ショットのようになります:



(該当する場合には) 下記を参照してログインのオプションを選択します。

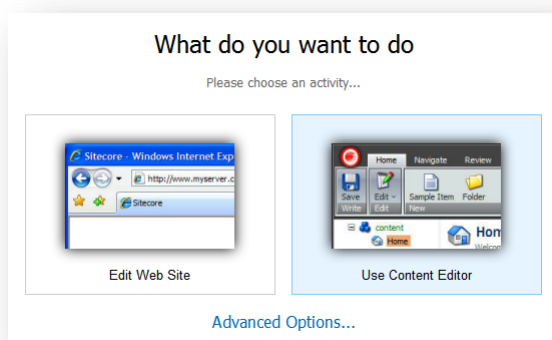
ユーザー名とパスワードを入力して [ログイン] をクリックしてログインします。

ログイン ページのコントロールと領域については次の段落で説明します。

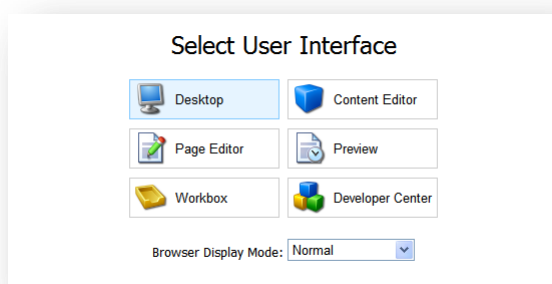
1. Login/Advanced の切り替えのリンク

バージョンによっては画面の左上に [Login/Advanced] というリンクがある場合があります。その場合にはこのリンクを使用して、アドバンスド ログインとシンプル ログインの画面を切り替えることが可能です。シンプル ログインではページ エディターとコンテンツ エディターのどちらかを選択することが可能です。アドバンスド ログインではより多くのユーザー インターフェースの選択肢があります。下記の例を参照してください:

[Login] を使ったシンプル ログイン



[Advanced] を使ったアドバンスド ログイン



アドバンスド ログインについてはこの文書の後のセクションで詳細に説明します。

2. ログイン画面

ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] ボタンをクリックしてログインします。

注意: ユーザー名は大文字と小文字を区別しません。パスワードは大文字と小文字を区別します。つまり、ユーザー名が Claire の場合には、ユーザー名を claire と入力しても同様にログインすることができます。しかし、パスワードが MyPassword の場合には mypassword と入力してもログインすることはできません。

Sitecore は最後に入力されたユーザー名とオプションの選択肢を記憶しています。

[Forgot Your Password] のリンクを使用して忘れたパスワードを取得することができます。また [Change Password] のリンクを使用してパスワードを変更することができます (パスワードを変更するためには、現在のパスワードを入力する必要があります)。

3. ライセンス情報とバージョン情報

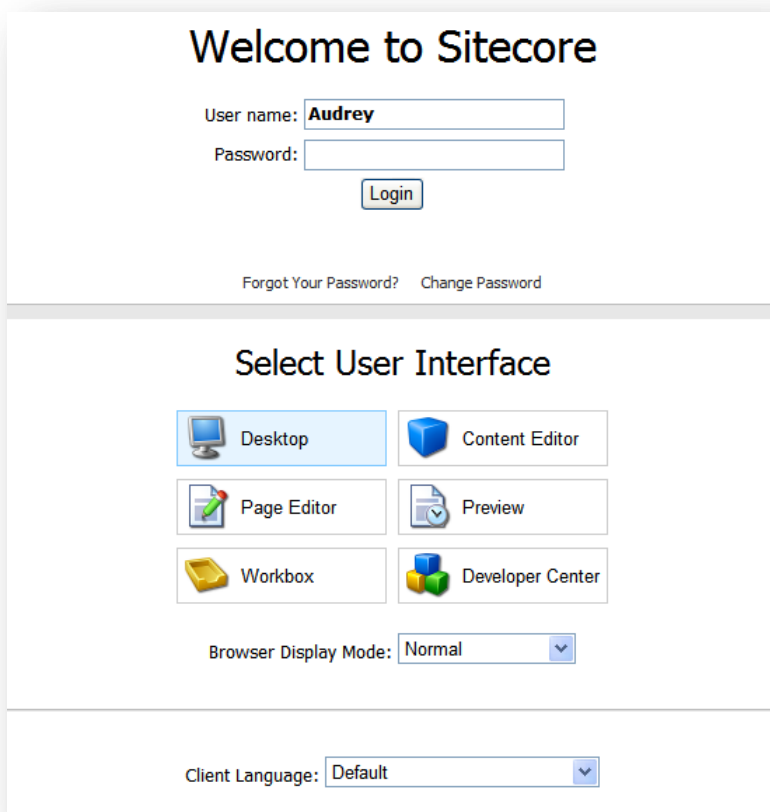
現在のインストール環境の情報を表示します。これには稼働中の Sitecore の詳細なリリース番号が含まれます。

4. ブラウザーに関するメモ

ブラウザーに関する重要なメモおよびその他の重要な通知を表示します。

1.1.1 アドバンスド ログイン モード

アドバンスド ログイン モードではユーザー名とパスワードが認証された後に表示されるインターフェースを選択することができます。

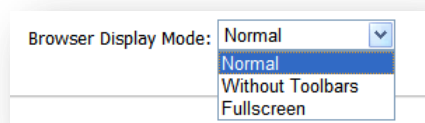


注意：システム管理者がユーザーの選択肢を上書きし、特定のユーザーは常に特定のインターフェースを使用するようにすることも可能です。

アドバンスド モードではさらに次の設定が可能です：

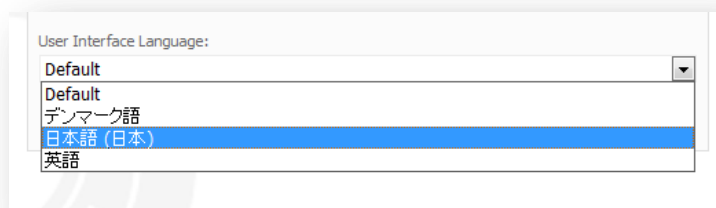
- ブラウザー表示モード
この設定には次の3つの選択肢があります: Normal (通常)、Without Toolbars (ツールバーなし)、

Fullscreen (全画面)。



- クライアント言語の設定

クライアント言語の設定ではクライアントの機能で表示される言語を選択します。



クライアント言語の設定は Sitecore のインターフェースで表示されるボタンと説明の言語のみに影響します。コンテンツの言語はそれとは別に管理されます。システム管理者はデフォルトのクライアント言語をユーザーごとに指定する ([ユーザーを編集] ダイアログを使用します) か、またはサイトごとに指定する (web.config ファイルの shell site 要素を使用する) ことができます。

言語によっては翻訳が完全でない場合もありますが、その場合には対応する翻訳のない箇所では英語版が表示されます。

[Default] を選択すると、ユーザー名に対応するユーザー プロパティでクライアント言語が設定されている場合にはその言語が使用されます。デフォルトでは Sitecore のすべてのユーザーのクライアント言語は英語に設定されています。しかしユーザーごとにデフォルトの言語設定を変更することが可能です。

Chapter 2

コンテンツの管理

この章ではコンテンツ ツリーを使用したアイテムの管理、メディア ライブラリの使用法、ファイルのアップロード、アイテムのバージョン管理機能、などに関するヒントを説明します。

2.1 コンテンツ ツリーを使用したアイテムの管理

コンテンツ ツリーを使用してアイテムの移動、作成、編集を行うにはいくつかの方法があります。

1. [ホーム] タブにある適切なグループとボタンを使用する
2. コンテキスト メニュー (アイテムを右クリックして表示する) を使用する
3. ドラッグ & ドロップ機能を使用する
4. [ホーム] タブの [クリップ ボード] グループを使用してアイテムの切り取り/コピー/貼り付けを行う

この文書では第 1 の手法を詳細に説明し、他の手法について簡単な説明を行います。

注意：

コンテンツ エディターの設定によっては、コンテンツ ツリーの一部が非表示となっている場合があります。

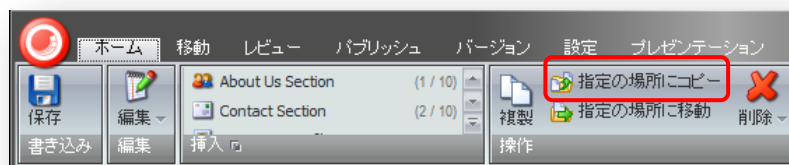
[表示] タブで [隠しアイテム] のチェック ボックスを確認し、レイアウト、システム、テンプレート アイテムを表示するためにはそのチェック ボックスを選択します。コンテンツ エディターでメディア ライブラリが表示されていない場合には、[ツリー全体] のチェック ボックスを選択すると、メディア ライブラリを表示させることができます。



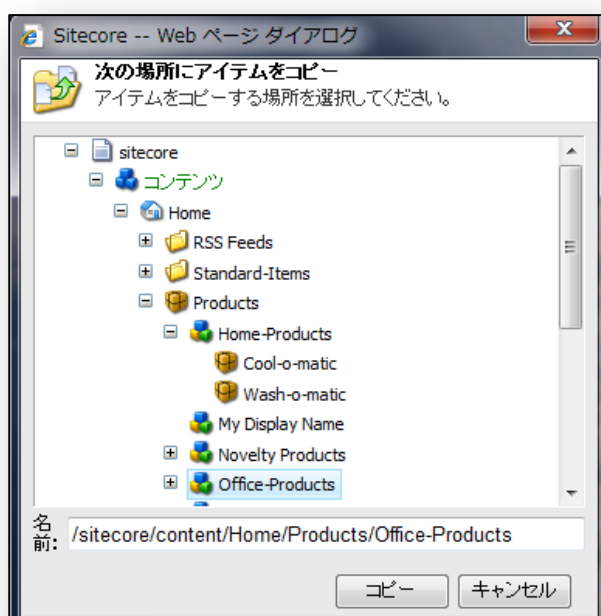
2.1.1 アイテムを他の場所にコピーする

アイテムを他の場所にコピーする手順:

1. コンテンツ ツリーで、コピーしたいアイテムを選択します。
2. [ホーム] タブの [操作] グループで [指定の場所にコピー] をクリックします。



3. [次の場所にアイテムをコピー] のダイアログ ボックスでアイテムのコピー先の場所を選択します。



4. [コピー] をクリックすると、アイテムは指定の場所にコピーされます。

2.1.2 アイテムを複製する

既存のアイテムを複製する手順:

1. コンテンツ ツリーで、複製したいアイテムを選択します。
2. [ホーム] タブの [操作] グループで [複製] をクリックすると、新規のアイテムに名前をつけるためのダイアログが表示されます。



3. 新規のアイテムの名前を入力すると、複製したアイテムと同じレベルでコンテンツ ツリーに追加されます。そのアイテムは元のアイテムと同じテキスト、画像などのすべてを含んでいます。

2.1.3 アイテムを移動する

アイテムを移動する手順:

1. コンテンツ ツリーで、移動対象のアイテムに移動します。

2. [ホーム] タブの [操作] グループで [指定の場所に移動] をクリックします。



3. [アイテムを指定の場所に移動] のダイアログ ボックスでアイテムの移動先の場所を選択します。
4. [移動] をクリックしてアイテムを移動します。

2.1.4 アイテムを削除する

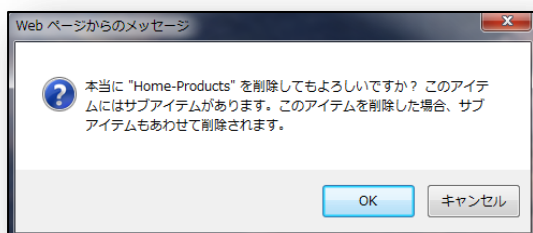
Web サイトからアイテムを削除する手順:

1. コンテンツ ツリーで、削除するアイテムを選択します。
2. [ホーム] タブの [操作] グループで [削除] をクリックします。



アイテムは Web サイトから削除されます。

サブアイテムを含むアイテムを削除しようとすると、そのアイテムにはサブアイテムがあり、アイテムを削除した場合にはサブアイテムもあわせて削除されることを知らせるメッセージが表示されます。



それらのアイテムを保存したい場合には、他の場所に移動させる必要があります。アイテムとサブアイテムを削除するには [OK] をクリックします。

選択したアイテムのサブアイテムのみを削除する場合には、[削除] ボタンの隣の [下向き矢印] をクリックし、[サブアイテムを削除] を選択します。



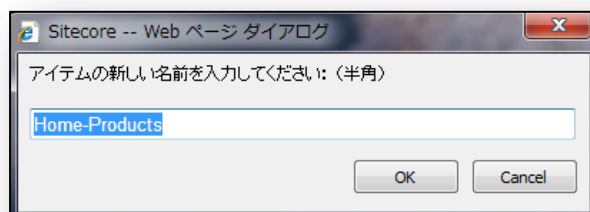
2.1.5 アイテムの名前を変更する

アイテムの名前を変更する手順:

1. コンテンツ ツリーで、名前を変更するアイテムを選択します。
2. [ホーム] タブの [名前の変更] グループで [名前の変更] をクリックします。



3. 表示されるダイアログに新しい名前を入力し、[OK] をクリックします。

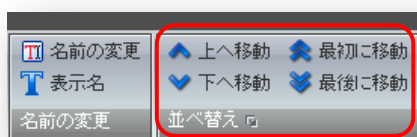


アイテムの名前が変更されました。

[名前の変更] グループを使用して、アイテムの [表示名] を変更することも可能です。

2.1.6 アイテムを並べ替える

コンテンツ ツリーのアイテムを並べ替えるには、[ホーム] タブの [並べ替え] グループを使用します。

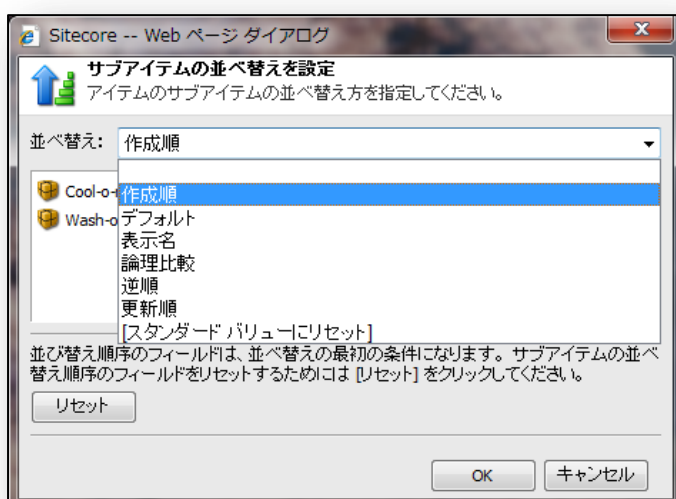


- [上へ移動] をクリックすると、選択されたアイテムを前のアイテムの上に移動します。
- [下へ移動] をクリックすると、選択されたアイテムを次のアイテムの下に移動します。
- [最初に移動] をクリックすると、そのアイテムを最初に移動します。
- [最後に移動] をクリックすると、そのアイテムを最後に移動します。

サブアイテムの並べ替えのオプションを使用するには、[高度な設定] のアイコンをクリックします。

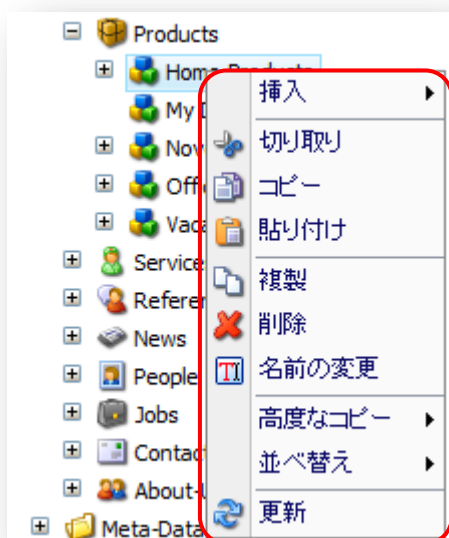


次のようなウィンドウが表示されます:



2.1.7 右クリックでコンテキスト メニューを使用する

アイテムを右クリックしてコンテキスト メニューにアクセスすると、各種のアクションを実行することができます。



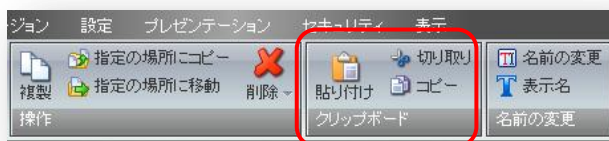
2.1.8 ドラッグ & ドロップ機能を使用する

アイテムをクリックし、それをドラッグして他の場所に移動することができます。

[Ctrl キー] を押しながらアイテムをドラッグすると、そのアイテムをコピーすることができます。

2.1.9 クリップボードを使用する

[ホーム] タブの [クリップ ボード] グループを使用してアイテムの切り取り/コピー/貼り付けを行うことができます。



アイテムを選択し、[切り取り] をクリックし、貼り付け先のアイテムに移動し、[貼り付け] をクリックします。切り取ったアイテムは貼り付け先のアイテムの子として作成され、元のアイテムは削除されます。

[コピー] と [貼り付け] も同様に動作しますが、元のアイテムは削除されません。

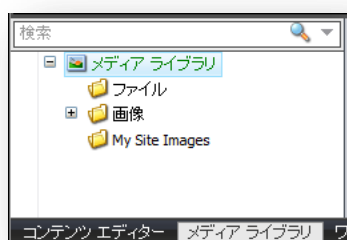
2.2 メディア ライブラリ

このセクションではメディア ライブラリへのアクセス方法とファイルのアップロードについて説明します。

2.2.1 メディア ライブラリへのアクセス方法

メディア ライブラリにアクセスする方法

- デスクトップから [Sitecore]、[メディア ライブラリ] を選択します。
- [コンテンツ エディター] で、画面の下部のバーから [メディア ライブラリ] を選択します:

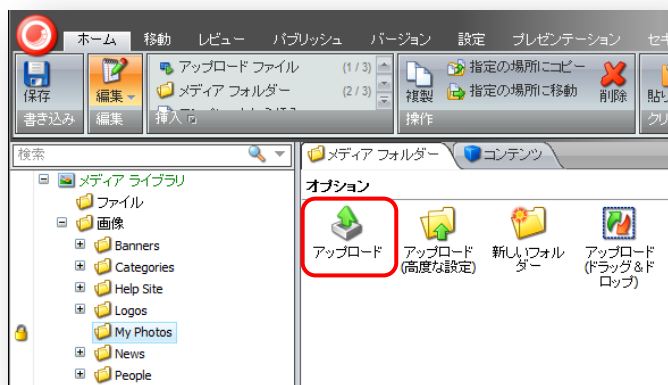


- [コンテンツ エディター] のコンテンツ ツリーで [メディア ライブラリ] フォルダーに移動します。([表示] タブの [隠しアイテム] と [ツリー全体] のチェック ボックスが選択されている必要があります。)

2.2.2 ファイルをメディア ライブラリにアップロードする

ファイルをメディア ライブラリにアップロードする手順:

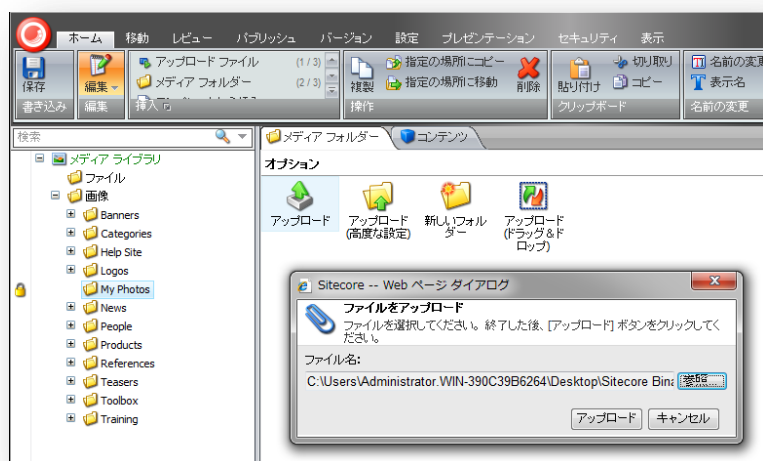
1. メディア ライブラリのフォルダーに移動します。画面の右側に次のようなメニューが表示されます:



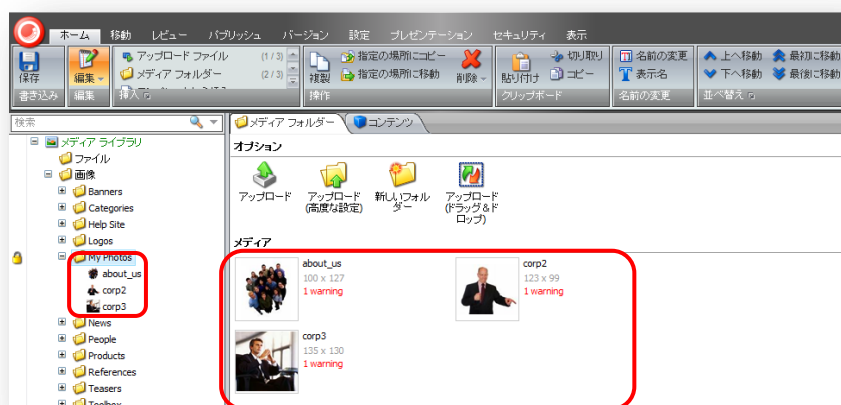
2. [アップロード] をクリックします。ダイアログでアップロードするファイルを選択します。(該当する場合) [Ctrl キー] を押しながら選択するか、または選択領域をドラッグすることにより、複数のファイルを選択することが可能です。



ファイルの選択後に [開く] をクリックして、アップロードを開始します。下記のような画面が表示されます。

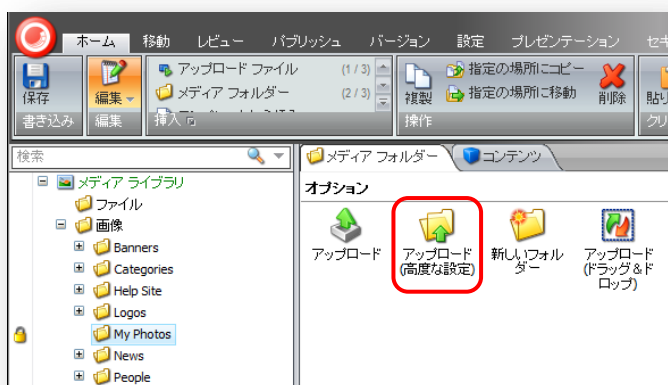


- アップロードの完了後に、アップロードされたファイルを確認します。



2.2.3 アップロードの高度な設定のオプション

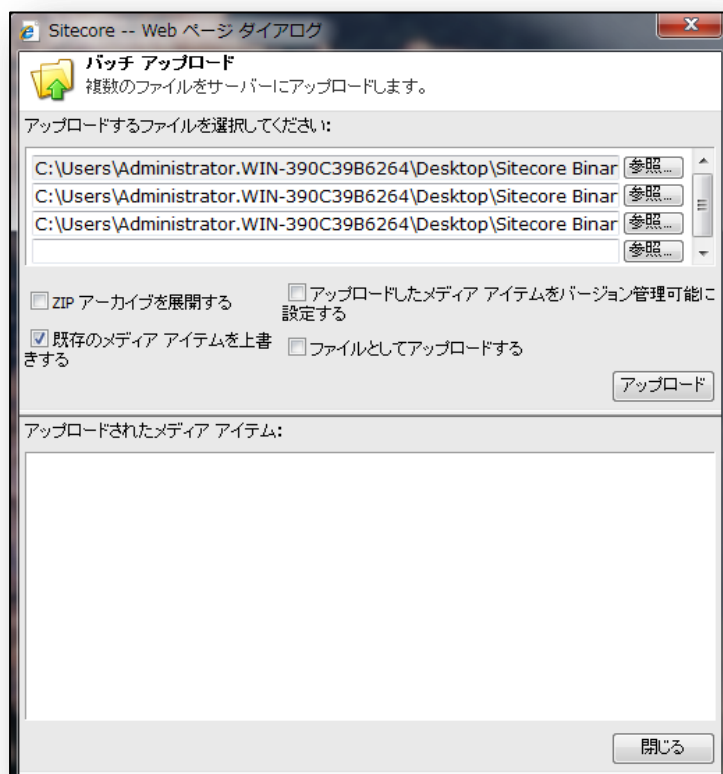
アップロードの高度な設定のオプションを使用するには、[アップロード (高度な設定)] ボタンを選択します。



アップロードするファイルを選択します。（該当する場合）[Ctrl キー] を押しながら選択するか、または選択領域をドラッグすることにより、複数のファイルを選択することができます。



[開く] をクリックします。次のようなダイアログが表示されます:



このダイアログでは次のような高度な設定が可能です。

代替テキスト (該当する場合)

[代替テキスト] フィールドを使用して画像の alt タグのためのテキストを入力します。

ZIP アーカイブを展開する

このチェック ボックスを選択すると ZIP アーカイブがアップロードされたあとで展開されます。アーカイブ ファイル自体は展開されたあとで削除されます。アーカイブがフォルダーを含む場合にはそのフォルダーもメディア ライブラリ内に作成されます。この機能は多数のファイルをアップロードする場合には非常に有効です。

既存のメディア アイテムを上書きする

このチェック ボックスを選択すると同じ名前のアイテムをアップロードしたときに既存のアイテムを上書きします。このチェック ボックスが選択されていないときに、アップロードするファイルの名前がアップロード先のフォルダーにすでに存在するファイルと同じであった場合には、同じ名前をもつ別のアイテムが作成されます。

アップロードしたメディア アイテムをバージョン管理可能に設定する

アップロードするファイルをバージョン管理可能に設定する場合にはこのオプションを選択します。デフォルトではメディア アイテムのバージョン管理の設定はオフとしてアップロードされます (これは web.config ファイルの `Media.UploadAsVersionableByDefault` で決定されます)。

2.2.4 複数のファイルをバッチでアップロードする方法

複数のファイルをバッチでアップロードする方法:

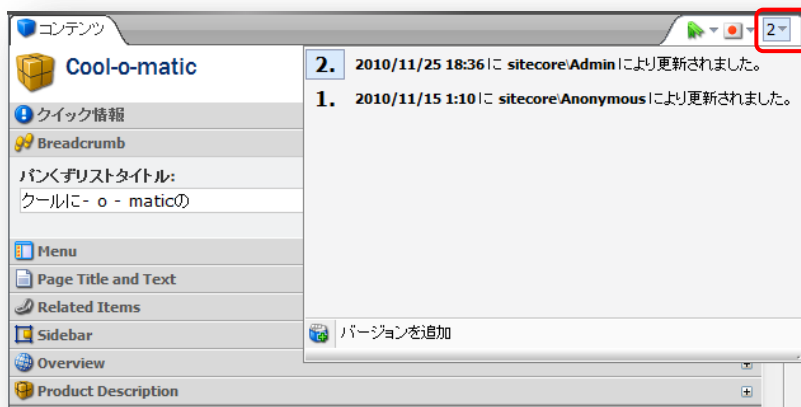
- ディスク上でアップロードするファイルの ZIP アーカイブを作成します。ファイルにフォルダーを含めることもできます。フォルダー構造はメディア ライブラリに展開後も保存されます。
- メディア ライブラリ フォルダーで [アップロード (高度な設定)] ボタンをクリックし、[参照] ボタンを使用して ZIP アーカイブを選択します。
- [ZIP アーカイブを展開する] のチェック ボックスを選択します。
- [アップロード] ボタンをクリックします。アーカイブはアップロードされ、選択されたメディア ライブラリのフォルダーに展開されます。

2.3 バージョン管理

このセクションでは Sitecore CMS でバージョン管理を行う方法を説明します。

2.3.1 バージョンを切り替える方法

数値バージョンを切り替えるには、コンテンツ エディターの数値バージョン ボタンをクリックしてバージョンを選択します：



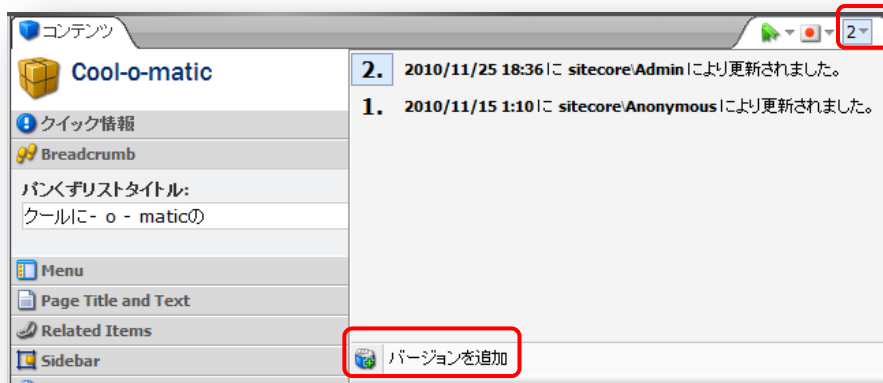
言語バージョンを切り替えるには、コンテンツ エディターの言語バージョン ボタンをクリックして言語を選択します：



2.3.2 新しい数値バージョンを追加する

現在選択されているアイテムに新しい数値バージョンを追加する手順

コンテンツ エディターでコンテンツ領域の右上隅のバージョンの数字のマークをクリックします。バージョンのリストが表示されます。



リストの下部にある [バージョンを追加] ボタンをクリックします。現在の言語に新しいバージョンが追加されます。

メモ

新しいバージョンは存在する最新のバージョンをコピーして作成されます。すべてのフィールドの値がコピーされます。

リボンを使って新しい数値バージョンを追加する

- 新しいバージョンを追加するアイテムを選択します。
- リボンで [バージョン] タブを選択します。



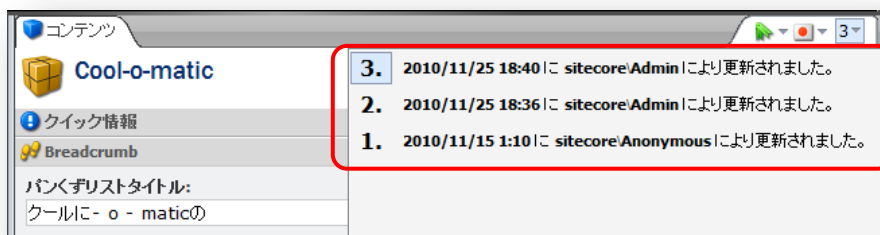
- [バージョン] グループの [追加] ボタンをクリックします。現在の言語に新しいバージョンが追加されます。

2.3.3 アイテムの数値バージョンを削除する

アイテムの数値バージョンを削除する手順:

- アイテムを選択します。

- 削除するバージョンを選択します。



- [バージョン] タブの [バージョン] グループで [削除] ボタンをクリックします。



選択されたバージョンが削除されます。

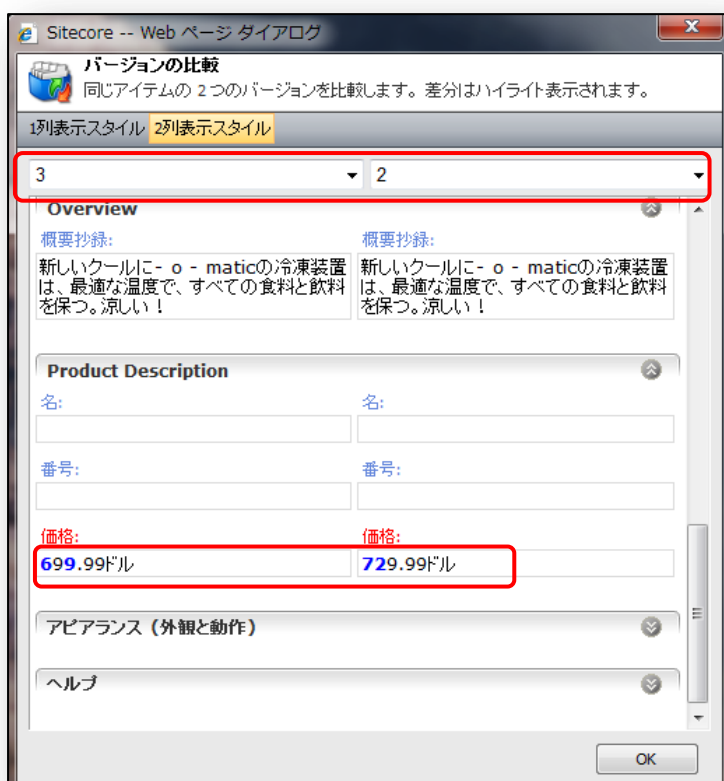
2.3.4 アイテムの2つのバージョン間の変更を確認する

アイテムの2つのバージョン間の変更を確認する手順:

- コンテンツ エディターでアイテムを1つ選択します。
- [バージョン] タブの [バージョン] グループで [比較] をクリックします。

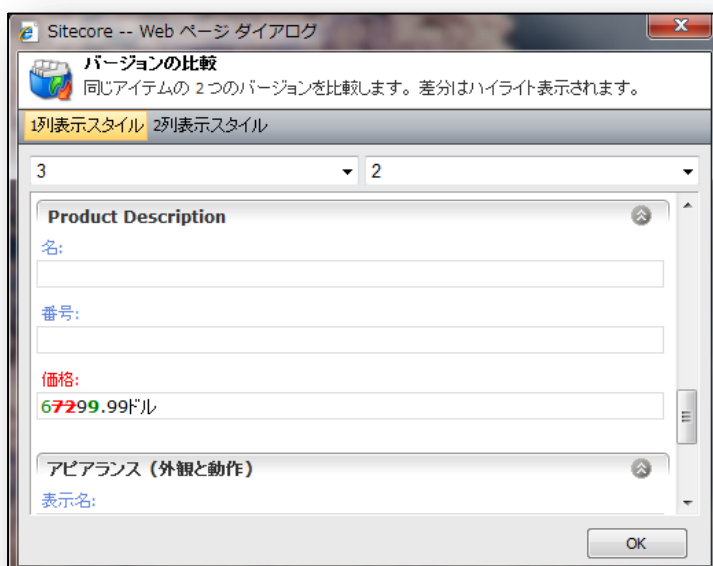


次のようなダイアログが表示されます:



上のダイアログはバージョン 2 とバージョン 3 の比較を示しています。フィールドの変更点は青字で表示されています。

上の画面では 2 列表示スタイルでの例を示しています。1 列表示スタイルでは下記のようになります:



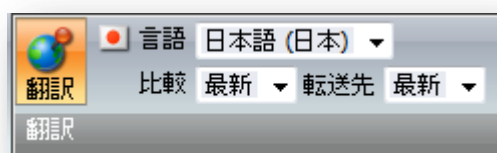
2.3.5 アイテムのコンテンツを別の言語に翻訳する

アイテムのコンテンツを別の言語に翻訳する手順:

- 翻訳したいアイテムを選択します。
- [バージョン] タブの [翻訳] グループで [翻訳] をクリックします。



[翻訳] がクリックされると [翻訳] グループのオプションがアクティブになります:



- [言語] フィールドで言語を選択します。右側の列にその言語のフィールドがあります (下記の画面を参照してください):



翻訳したテキストをそれらのフィールドに入力します。

[翻訳] グループには [比較] のフィールドもあります。これらのフィールドを使用してコンテンツ エディターのウィンドウでアイテムのバージョン間の比較を行うことが可能です。ただし [バージョン] グループの [比較] ボタンを使用する場合は異なり、相違点の強調表示の機能はありません。

2.3.6 新しい言語バージョンを作成する方法

別の言語のバージョンを追加するには、[バージョン] タブの [言語] グループでその言語に切り替え、数値バージョンを追加します。現在選択されている言語に数値バージョンが作成されます。

次の章では新しい言語を追加する方法を説明します。

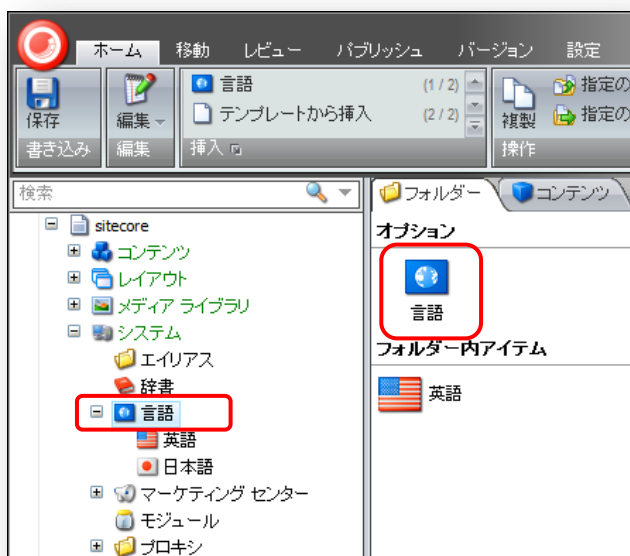
Chapter 3

言語の管理

このセクションでは Sitecore CMS で言語の追加と削除を行う方法を説明します。

3.1 新しい言語の追加方法

新しい言語を追加するには、[/sitecore/システム/言語] アイテムを選択し、言語テンプレートを使用して新しい言語を追加します。



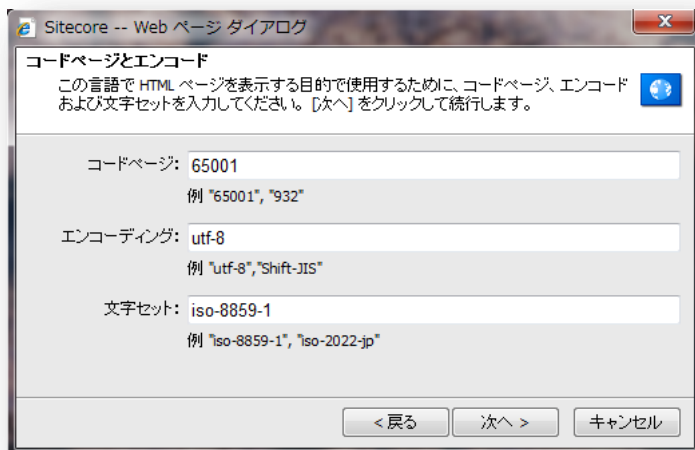
言語テンプレートを選択すると、次のダイアログが表示されます:



最初のフィールドで追加する言語を選択します。すると [カスタム コード] 以外のフィールドはすべて自動的に入力されます。

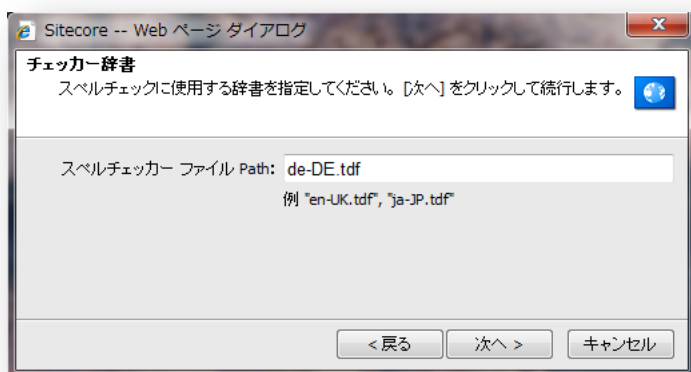
[次へ] をクリックします。

[コードページとエンコーディング] のダイアログが表示されます。選択した言語のデフォルトの設定がすでに入力されています:



[次へ] をクリックします。

[チェッカー辞書] ダイアログが表示されます。デフォルト設定がすでに入力されています:



[次へ] をクリックします。最後のウィンドウが表示されます。[完了] をクリックします。言語が追加されました。



またはコントロール パネルを使用して言語を追加することも可能です。

- [Sitecore » コントロール パネル » グローバリゼーション » システムに言語を追加する] を開きます。すると上記と同様のダイアログが開始されます。

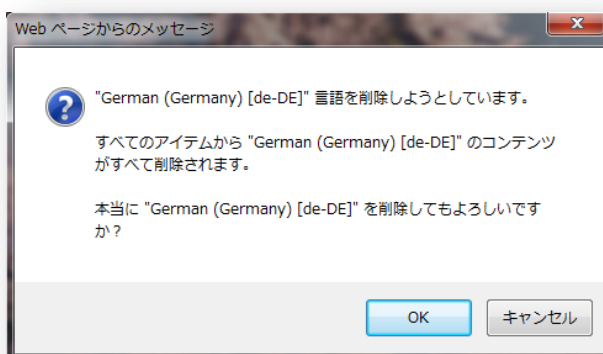
3.2 言語の削除方法

Sitecore CMS ソリューションから言語を削除する手順:

1. [/sitecore/システム/言語] アイテムの下で、削除する言語を選択します。



2. 通常のアイテムの削除の場合と同様に、[ホーム] タブで [削除] を選択します。
3. 確認のダイアログが表示され、アイテムを削除することを確認すると、さらに次のダイアログが表示されます:



[OK] をクリックして進めます。言語とその言語のすべてのコンテンツは削除されます。

メモ

Sitecore CMS ソリューションから言語を削除すると、すべてのアイテムからその言語のすべてのコンテンツが削除されます。

またはコントロール パネルを使用して言語を削除することも可能です。

- [Sitecore » コントロール パネル » グローバリゼーション » システムから言語を削除する] を開きます。すると上記と同様のダイアログが開始されます。

Chapter 4

コンテンツのパブリッシュ

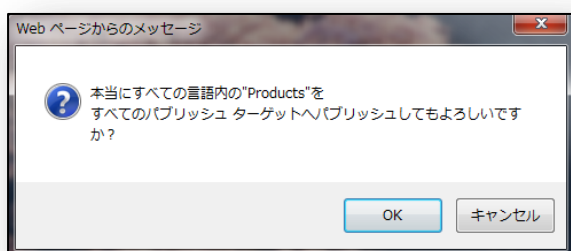
この章ではパブリッシュに関連する各種の操作を説明します。

4.1 アイテムまたはサイト全体をパブリッシュする方法

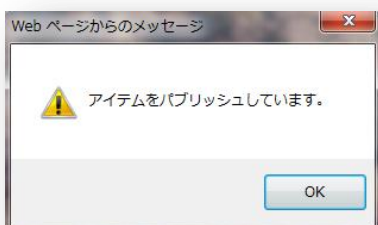
アイテムをパブリッシュするには、[パブリッシュ] タブの [パブリッシュ] グループで [パブリッシュ] をクリックします。



次のようなダイアログが表示されます:

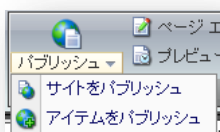


[OK] をクリックします。次のようなダイアログが表示されます:



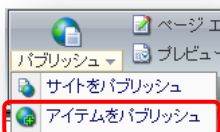
[OK] をクリックします。パブリッシュの処理はバックグラウンドで実行され、短時間で終了します (所要時間はパブリッシュのキューとサーバーのパフォーマンスに依存しますが、通常はパブリッシュされたコンテンツはターゲット データベースに数秒ほどで表示されます)。

[パブリッシュ] ボタンにはサブメニューがあります。このサブメニューから使用できるオプションについては次のセクションで説明します:

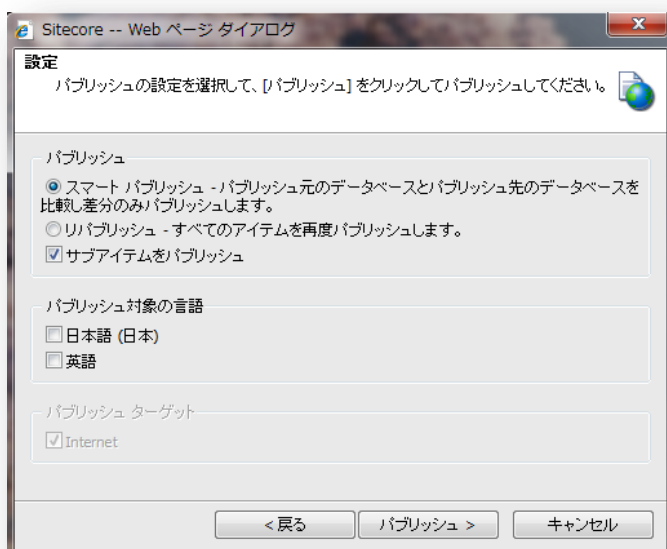


4.1.1 高度な設定を使用してアイテムをパブリッシュする

高度な設定を使用してアイテムをパブリッシュするには、サブ オプション [アイテムをパブリッシュ] を選択します:



次のようなダイアログが表示されます:

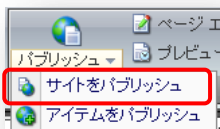


必要なオプションを選択して [パブリッシュ] をクリックします。

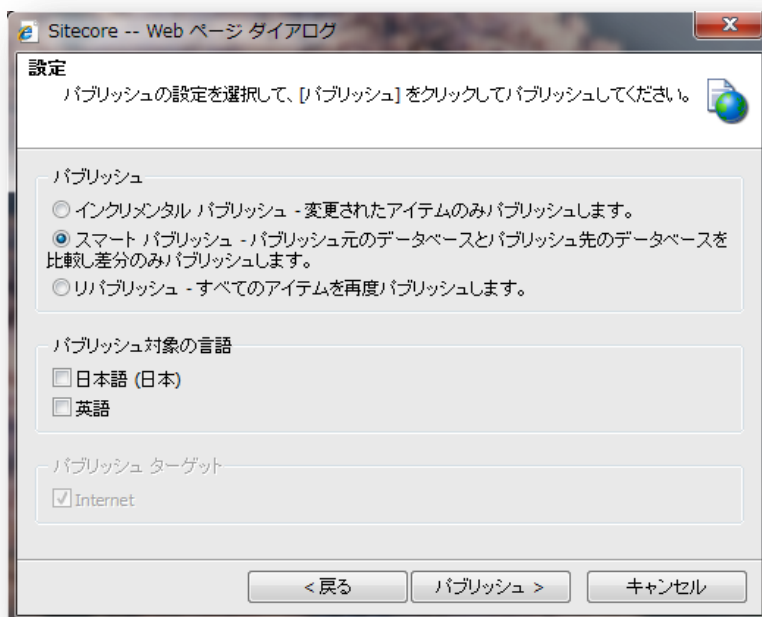
サマリーのダイアログを確認し、[終了] をクリックします。

4.1.2 サイト全体をパブリッシュする

サイト全体をパブリッシュするには、サブ オプション [サイトをパブリッシュ] を選択します。



次のようなダイアログが表示されます:



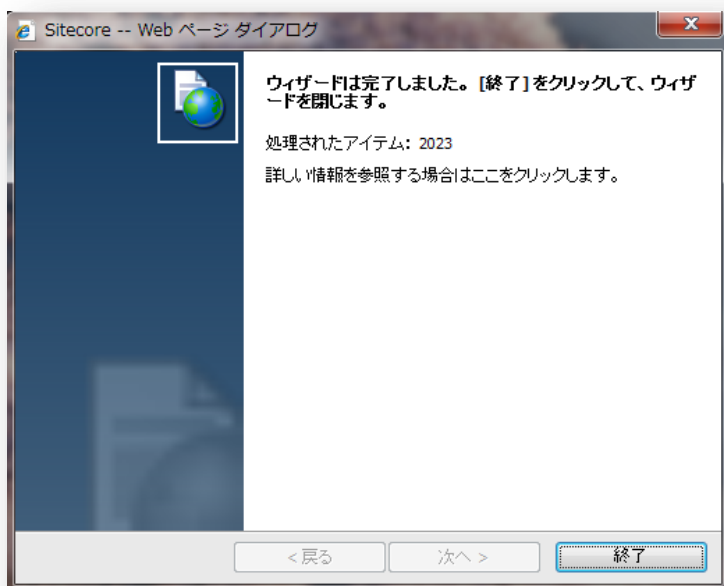
必要なオプションを選択して [パブリッシュ] をクリックします。次のようなウィンドウが表示されます:



メモ

処理が完了する前にパブリッシュのダイアログを閉じることができます。その場合もダイアログにかかわらず、パブリッシュは継続されますが、サマリーを見ることはできません。

パブリッシュ処理が完了すると、サマリー ウィンドウが表示されます。



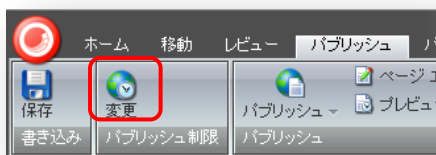
ウィンドウを確認し、[終了]をクリックします。

4.2 アイテムのバージョンを非表示にする方法

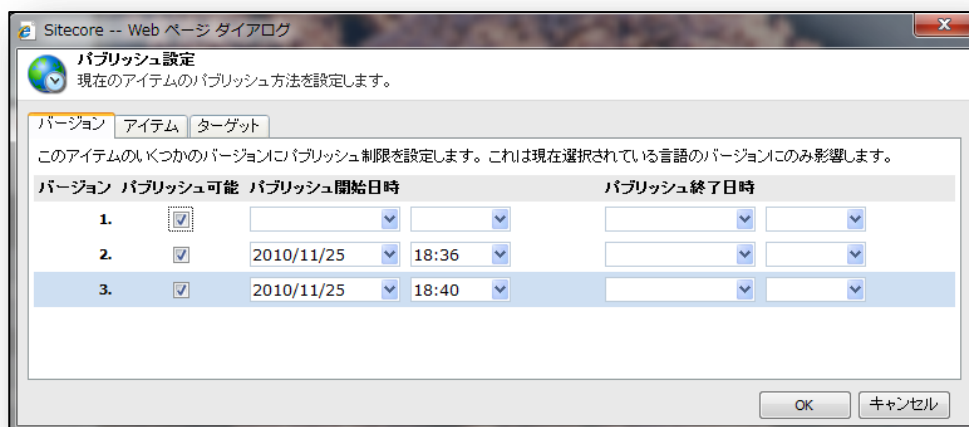
アイテムに複数のバージョンが存在する場合、最新の数値バージョンがパブリッシュされます。ただし、そのバージョンが非表示であるか、その他のパブリッシュ制限がある場合を除きます。

あるアイテムのあるバージョンを非表示にする手順:

1. [パブリッシュ] タブの [パブリッシュ制限] グループで [変更] ボタンをクリックします。



2. 次のようなウィンドウが表示されます:



3. アイテムのあるバージョンを非表示にするには、バージョン番号の隣の [パブリッシュ可能] 列のチェック ボックスをクリアします。
アイテムのバージョンをある日時までの間、非表示にする場合は、[パブリッシュ可能] のチェック ボックスを選択し、[パブリッシュ開始日時] に適切な日付と時間を設定します。
アイテムのバージョンをある日時以降に非表示にする場合は、[パブリッシュ可能] のチェック ボックスを選択し、[パブリッシュ終了日時] に適切な日付と時間を設定します。
4. [OK] をクリックします。
5. アイテムを保存します。
6. 次にパブリッシュ操作が実行されたときには、適切なバージョンが Web データベースにパブリッシュされます。たとえば、バージョン 3 の [パブリッシュ可能] チェック ボックスをクリアした場合には、バージョン 2 が Web データベースにパブリッシュされます (その他の制限のない場合)。

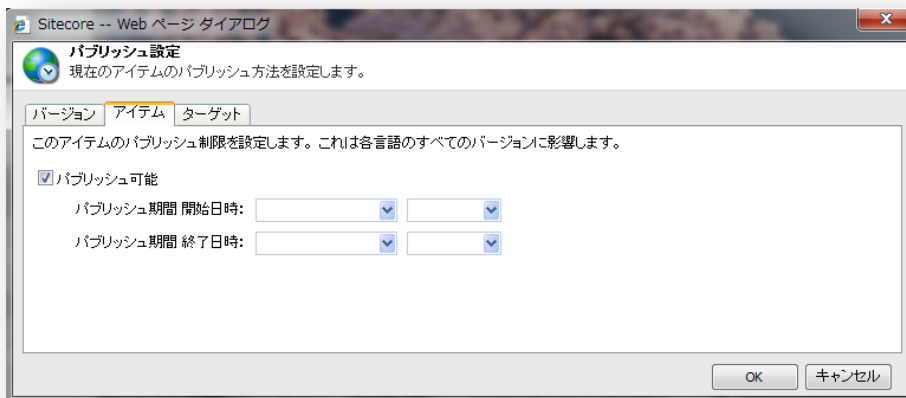
4.3 アイテムをパブリッシュ停止にする方法

あるアイテムとそのすべてのバージョンをパブリッシュ停止にする手順:

1. [パブリッシュ] タブの [パブリッシュ制限] グループで [変更] ボタンをクリックします。



2. ダイアログのウィンドウで [アイテム] タブを選択します:



3. アイテムをパブリッシュ停止にするには、[パブリッシュ可能] チェックボックスをクリアします。
アイテムをある日時までの間、パブリッシュ停止にする場合は、[パブリッシュ可能] のチェックボックスを選択し、[パブリッシュ開始日時] に適切な日付と時間を設定します。
アイテムをある日時以降にパブリッシュ停止にする場合は、[パブリッシュ可能] のチェックボックスを選択し、[パブリッシュ終了日時] に適切な日付と時間を設定します。
4. [OK] をクリックします。
5. アイテムを保存します。
6. 次にパブリッシュ操作が実行されたときに、アイテムは Web データベースから削除されます。

4.4 アイテムのパブリッシュをスケジュールする方法

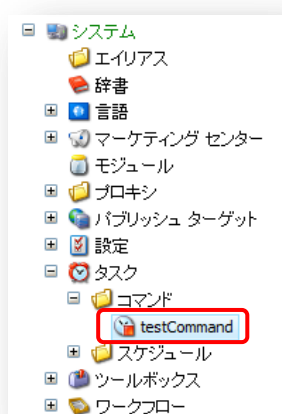
アイテムのパブリッシュをスケジュールするには、Sitecore のタスクのスケジュール機能の使用と若干のコーディングが必要です。次の例ではスケジュール タスクを設定する方法のサンプルを示しています。このタスクは決められた時間に起動してファイルにメッセージを書き込みます。このような手法でアイテムをパブリッシュするためには、この例で示すクラスに代えて、パブリッシュを実装するクラスをコーディングする必要があります。

そのようなタスクを構成する手順:

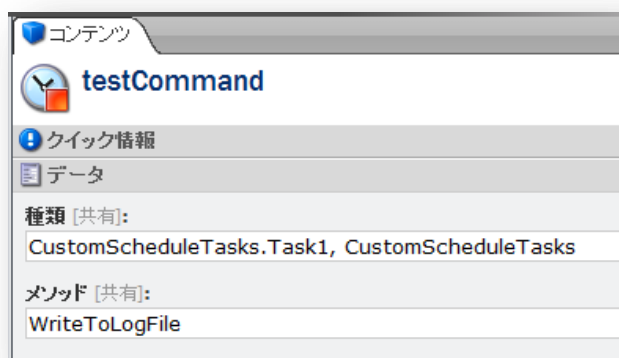
1. 自分用のクラスを作成します。そのクラスは少なくとも 1 つのパブリックなメソッドを次のようなパラメーターを使用して実装する必要があります:

```
using System;
using Sitecore.Data.Items;
using Sitecore.Tasks;
namespace CustomScheduleTasks
{
    public class Task1
    {
        public void WriteToFile(Item[] itemArray, CommandItem
commandItem, ScheduleItem scheduledItem)
        {
            Sitecore.Diagnostics.Log.Info("Test Scheduled
task:"+DateTime.Now, this);
        }
    }
}
```

2. このアセンブリをコンパイルし、結果ファイル (たとえば CustomScheduleTasks.dll) を Sitecore の Web ルートの下の /bin フォルダに置きます。
3. コンテンツ エディターでシステム アイテムに移動し、[/システム/タスク/コマンド] フォルダを探し、[/システム/プレート/システム/タスク/コマンド] テンプレートをもとにして新しいアイテムを作成します。



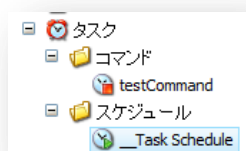
4. コマンド アイテムの各フィールドを入力します:



[種類] フィールドには %namespace.class%、%assembly name% の値が入ります。[メソッド] は指定されたクラスから呼び出すメソッドを示します。

これでこのコマンドをスケジュール タスクとして使用するための準備ができました。

5. [/システム/タスク/スケジュール] フォルダーに移動し、[/システム/テンプレート/システム/タスク/スケジュール] テンプレートをもとにして新しいアイテムを作成します。



6. スケジュール アイテムの各フィールドを入力します:



[コマンド]: 前のステップで作成されたコマンドを選択します。

[アイテム]: アイテムの配列をメソッドに渡す場合には、ここに XPath 式を置くことができます。パイプ文字を使

用して複数のアイテムを区切ることができます。たとえば:

/Sitecore/content/Home/Globals/Item1|/Sitecore/content/Home/Globals/Item2.

[スケジュール]: 20100720T235900|20110630T235900|127|00:10:00.

この例では、タスクは 2010.07.20 23:59:00 から 2011.06.30 23:59:00 まで、毎日 (数字 127 で指定)、10 分毎に (00:10:00 で指定) 実行されます。

[スケジュール] フィールドにはパイプ文字で区切られた 4 つのパラメーターを設定できます。

開始日時 | 終了日時 | 曜日 | 期間

[曜日] には DaysOfWeek 列挙型を使用します。たとえば、月曜と金曜には 34 (2+32) と書きます。

```
public enum DaysOfWeek
{
    None = 0,
    Sunday = 1,
    Monday = 2,
    Tuesday = 4,
    Wednesday = 8,
    Thursday = 16,
    Friday = 32,
    Saturday = 64,
}
```

期間は次の書式を使用します: hh:mm:ss

[自動削除]: このフィールドが選択されている場合、スケジュールされたアイテムは完了後に削除されます。

7. web.config で必要な頻度と間隔のパラメーターを設定します:

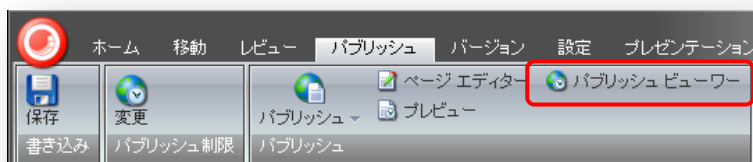
```
<scheduling>
  <!-- Time between checking for scheduled tasks waiting to execute -
->
  <frequency>01:00:00</frequency>

  <!-- Agent to process schedules embedded as items in a database -->
  <agent type="Sitecore.Tasks.DatabaseAgent" method="Run"
interval="01:00:00">
    <param desc="database">master</param>
    <param desc="schedule
root">/sitecore/system/tasks/schedules</param>
    <LogActivity>true</LogActivity>
  </agent>
  ...
```

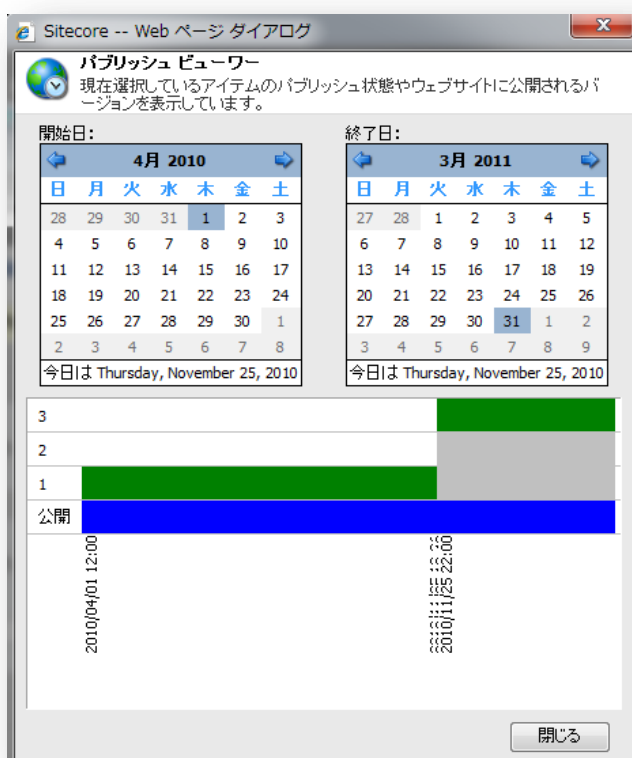
4.5 アイテムのどのバージョンがパブリッシュされるかを判別する方法

ある時点でアイテムのどのバージョンがパブリッシュされるかを判別するためには、パブリッシュ ビューワー アプリケーションを開きます。

[パブリッシュ] タブの [パブリッシュ] グループで [パブリッシュ ビューワー] ボタンをクリックします:



次のようなウィンドウが表示されます:



開始日と終了日のカレンダー フィールドを使用して表示したい期間を選択します。

ウィンドウ下部のバーがアイテムとそのバージョンがパブリッシュされるかどうかを示します。

バーの色の塗り分けは下記の通りです:

- 緑: このバージョンはアクティブでパブリッシュするために有効です。

- グレー: 非アクティブです。このバージョンは通常は新しいバージョンに置き換えられています。
- 青: このアイテムが有効である期間を示します。必ずしもパブリッシュされているとは限りません。

Chapter 5

検索を管理する

この章では Sitecore CMS で検索機能を管理するための方法について説明します。

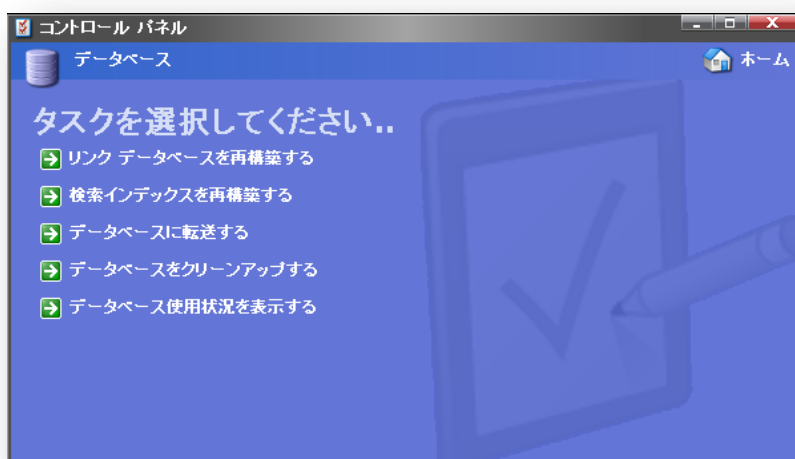
5.1 検索インデックスとリンク データベースの再構築の方法

コントロール パネルを使って検索インデックスとリンク データベースを再構築することができます。

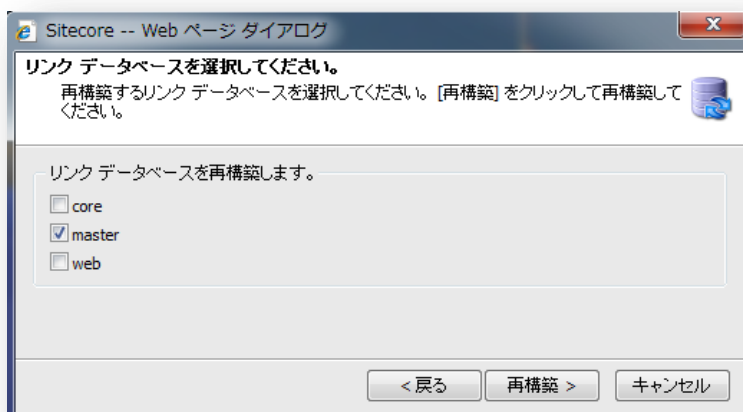
コントロール パネルを開きます (**Sitecore » コントロール パネル**):



[データベース] セクションを開きます:

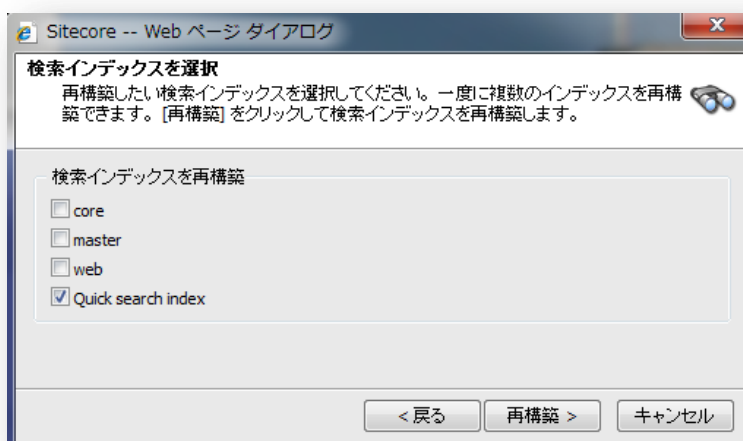


リンクデータベースを再構築するには [リンク データベースを再構築する] を選択します:



リンク データベースを再構築するデータベースを選択し、[再構築] をクリックします。

検索インデックスを再構築するには [検索インデックスを再構築する] を選択します:



インデックスを再構築するデータベースを選択し、[再構築] をクリックします。

Chapter 6

システム管理者のためのメモ

この章ではシステム管理者のために役立つヒントとメモを記載しています。

6.1 ログイン ページのカスタマイズ

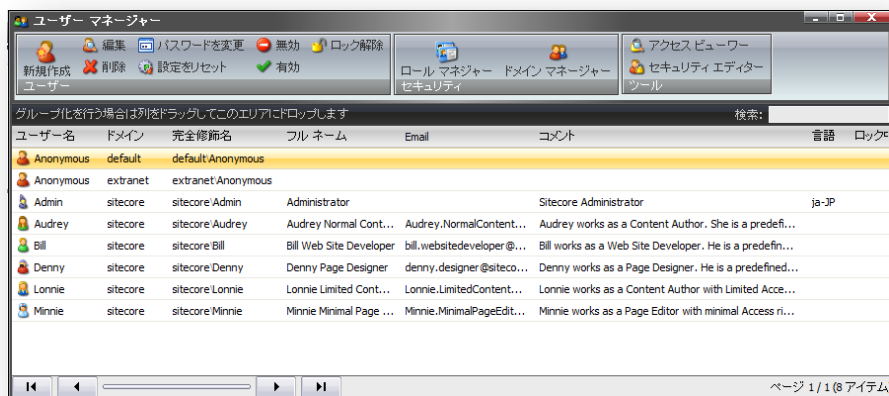
開発者はサイトのログイン ページをカスタマイズすることができます。そのため、環境によってはログイン ページは先に示したスクリーンショットと異なる場合があります。開発者はログイン ページの "Welcome to Sitecore" というタイトルを変更したり、任意のテキストを追加するなどの、簡単な変更を行うことができます。これは web.config の "Welcome Title" と "Welcome Text" を変更することで実現できます。

開発者はログイン ページにより大きな変更を行うことも可能です。これは associated .aspx、.js、.css の変更およびページに関連付けられている画像ファイルを変更することで実現できます。これらの関連ファイルのソースは Sitecore の Web ルートの /sitecore/login フォルダにあります。

6.2 デフォルトのクライアント言語を変更する

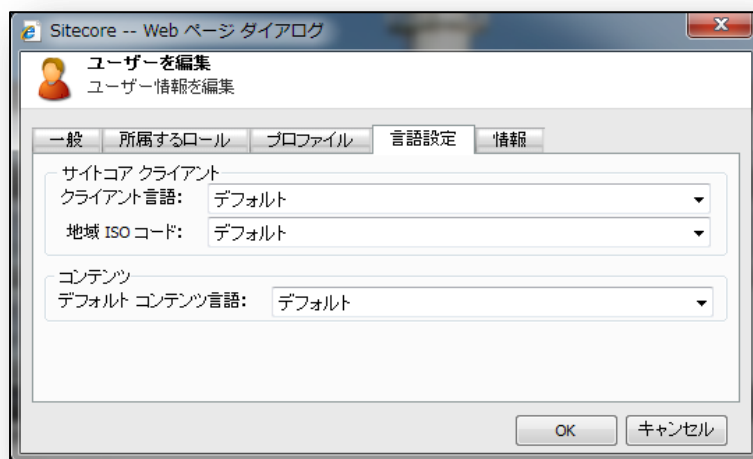
デフォルトでは Sitecore のすべてのユーザーのクライアント言語は英語に設定されています。しかしユーザーごとにデフォルトの言語設定を変更することが可能です。デフォルトの言語設定を変更する手順:

ユーザー マネージャー アプリケーションを開きます: **Sitecore » セキュリティ ツール » ユーザー マネージャー**



クライアント言語を変更するユーザーを選択し、[ユーザー] グループで [変更] をクリックします。

[ユーザーを編集] ウィンドウが表示されます。このウィンドウで [言語設定] タブを選択します。



[クライアント言語] フィールドに必要な値を設定します。